

手動で再同期 HDS B から HDS A

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料に履歴データ サーバ (HDS) のレポートから不足データを回復方法を記述されています。

前提条件

要件

以下についての知識をお持ちの上でこの文書をお読みになることを推奨します。

- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)
- Windows 2008 サーバ

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は UCCE ソリューションの HDS コンポーネントに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

サービスがネットワークが予定されていた停電によるロガーで停止する場合データはレポートで省くことができます。不足データがある HDS はピア HDS から回復必要があります。HDS はそれからロガーからのより新しいデータを引っ張るために再構成されます。

解決策

この例では、ネットワークの停止によりロガー A でサービスが停止しています。ロガー A は HDS A にレポート データを入力し、従ってデータは HDS A. から抜けています。この停止はロガ

ー A 従ってロガー B および HDS だけ B にですまだそのまま影響を与えます。

これらのステップ再同期 HDS B から HDS A を完了して下さい

構造化照会言語 (SQL) 管理スタジオから

ステップ 1. HDS A および HDS B データベースをバックアップして下さい (HDS A は危害予防のためです)。

ステップ 2. HDS A サーバに HDS B および transfer/FTP のためのバックアップ ファイルをそれぞれ持って行って下さい。

ステップ 3. サービス 制御から HDS A サービスを停止して下さい。これは呼ルーティングに影響を与えません。

ステップ 4 HDS A サーバから、これらのステップの使用によって SQL 管理スタジオが付いているデータベースを復元して下さい。

データベースを右クリックし、[Task] > [Restore] > [Database] を選択します。

[From device] をクリックし、<database>.bak を選択します。

[Restore] チェックボックスをオンにします。

Options タブを選択して下さい。

上書きを既存のデータベース選択して下さい。

[OK] をクリックします。

リストアはインポートが開始すればバックアップ ファイルが破損に関してはチェックされるが、進行状況を示します間、進行状況がないことを示します。

データベースの破損の検証にかかる時間は、サーバの速度とデータの大きさにより異なります。

ステップ 5. は ICMDBA コマンドで各 HDS の Intelligent Contact Management データベース管理 (ICMDBA) を入力します。

ステップ 6. サーバのホスト名にナビゲートし、例を > インスタンス名 > UCCE コンポーネント > データベース名選択して下さい。

ステップ 7 メイン メニューから、[Data] > [Spaced Used Summary] を選択します。

ステップ 8. レポートが HDS A および HDS 両方 B 最小 DateTime および最大 DateTime を表示することを確認して下さい。これらに値一致を確認して下さい。

注: 原因内の最小 DateTime および最大 DateTime 一致を両方確認して下さい。それらは丁度 1 つが他実行まだ停止する同じではないし。

ステップ 9 : HDS A データベースに対して自動記録器 A. Enter によってこの SQL コマンドを同期できるように自動記録器 A を指す HDS はキーのこの新しいセットを得るように回復が自動記録器 A で自動記録器 B を一致するかもしれませんするキー入力するので。

```
truncate table Recovery
```

ステップ 10： 確認しますコマンド /all あります追加されてに HDS レジストリの下で HKEY_LOCAL_MACHINE<SOFTWARE< Cisco Systems、 Inc. \ ICM \ {インスタンス名} \ ディストリビューター \ NodeManager \ CurrentVersion \ プロセス \ rpl。

たとえば、 /db lab_hds /client /name {ホスト名} /replicationport 40026 /recoveryport 40028 /all。

ステップ 11. HDS A サービスを開始し、複製する差分データの十分な時間を認めるために HDS の Service Control を開いて下さい。これは限り 24 時間奪取できません。

ステップ 12： 最小 DateTime および最大両方 DateTime がロガー A とロガー B と HDS1 と HDS2 の間で一致することを確認して下さい。24 時間後に ICMDBA によって間隔をあけられる使用された要約レポートを使用して下さい。